

## 【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業におけるICT活用①

## 5年生による授業実践 国語科「みんなが過ごしやすい町へ」（光村図書）

ねらい

総合的な学習の時間と関連させて、まちの中でみんなが過ごしやすいようになるための工夫について報告する文章を引用を用いて書くという言語活動を通して、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することをねらいとしている。

## 自己の課題解決のための時間の確保



自分の報告文を見直して修正したり、足りない情報を再度収集したりするなど、児童の課題意識や必要感に合わせて活動できる「ときめきタイム」の時間を授業時間内に確保することで、個別最適な学びへの足掛かりとした。

## 読み上げ機能を用いた推敲



タブレット端末の読み上げ機能や録音機能を使って、自分の書いた文章を音声で読み直し、子供自身で推敲のポイントに沿って文章を修正できるようにした。

## ジャムボードの活用

報告する文章を書くポイント（観点）に沿って、一人の報告する文章をグループで推敲していく際に、ジャムボードを活用し、友達の文章を読んで考えたことを共有するとともに、他者のアドバイスをジャムボード上で整理し蓄積することができるようにした。



## 授業実践による成果と課題

## 成果

- ・「ときめきタイム」を設けたことで、子供自身の課題意識に合わせて、文章の推敲を行うことができ、個別最適な学びへとつながった。
- ・ICT活用によって子供の思考が整理され、考えの変容や深まりへとつながった。

## 課題

- ・ジャムボードを用いた話し合いでは、「ジャムボードに考えを出す」「ジャムボードを見ながら話し合う」「ジャムボードの付箋を整理する」という段階を追って子供が進められるように指導が必要。